

社会福祉法人 長春会
たちばな保育園
園長 長野春信

養育の姿勢

1. 厚生労働大臣告示である保育所保育指針に則り、乳幼児を保育するとともに、健やかに心身が発達することを目的とします。
2. 自然に抱かれて、自然を知ること、虫、植物などにも愛情をもって接する心を養います。そして命の尊さを感じることで、人の痛みを感じるができる子に育てます。
3. 自然の中での遊びを通して、自ら考え、行動し、豊かな体験、挑戦する遊びなどを通し、危険を察知する力を育み、逞しく生きる力の土台を養います。
4. 自然の中で遊ぶことで、友だち同士互いに助け合い、影響しあいながら、共に育ちあうことを目指します。そして一人ひとりが、尊重し合う存在として、自己肯定感をもって成長できるように育てます。
5. 障がい者施設と交流し、障がいをもって生まれた方々と遊びや生活を共にすることで、多様であることを認め尊重する心を育みます。そして全ての人が地域社会にいるかけがえのない存在であると思える心を養います。

こういったことの基礎となり子どもが遊ぶ意欲の源である情緒的な絆を、子どもと保育士が築けるように、また、子どもと親がより良く築けるように、丁寧にかかわります。

これらのことを実現するためには保育の専門家だけでなく、地域に暮らす人々の様々な力が必要です。地域で暮らす市民の先輩として、これから地域を支える市民を育てる視点を持って、保護者、地域の人々と一緒に育ててまいります。